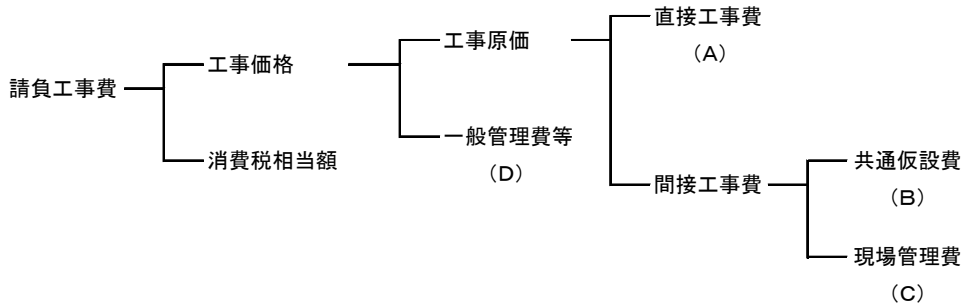


<参考>

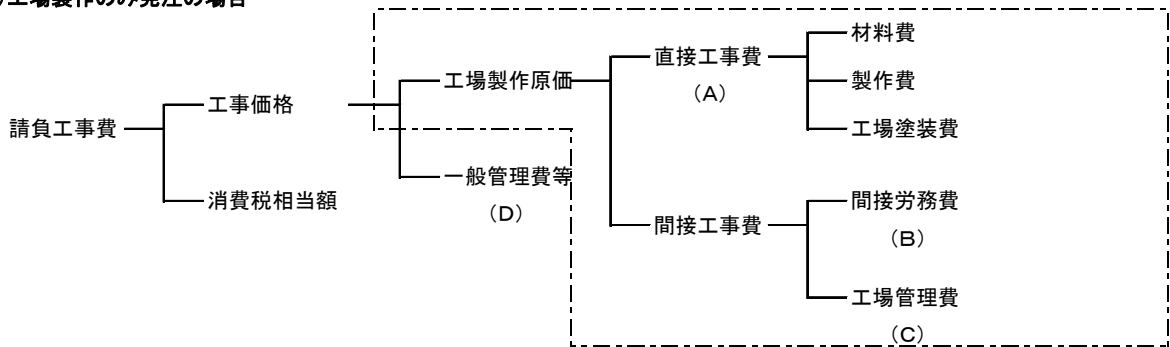
低入基準価格算出における区分について（第5条第1号表関係）

(1) 以下の例において、(A)を付したものは直接工事費に、(B)を付したものは共通仮設費に、(C)を付したものは現場管理費に、(D)を付したものは一般管理費にそれぞれ計上すること。

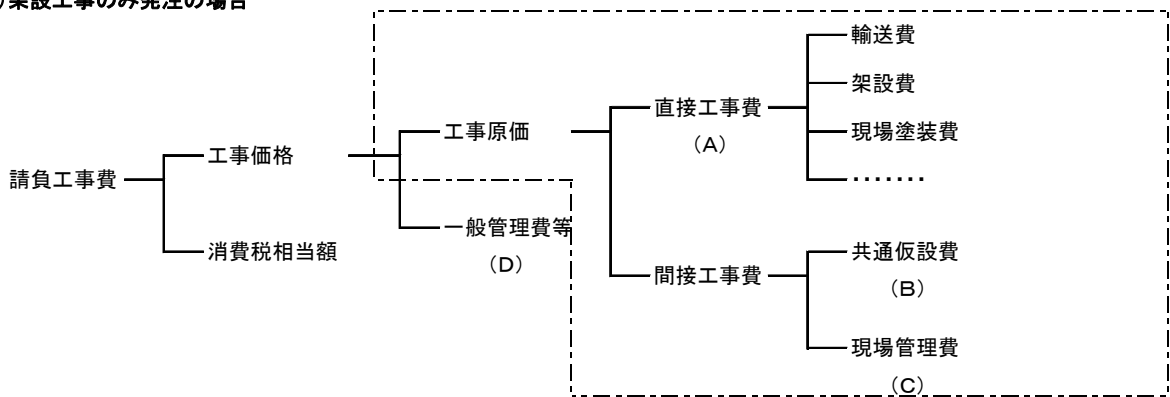
<一般的な工事の例>



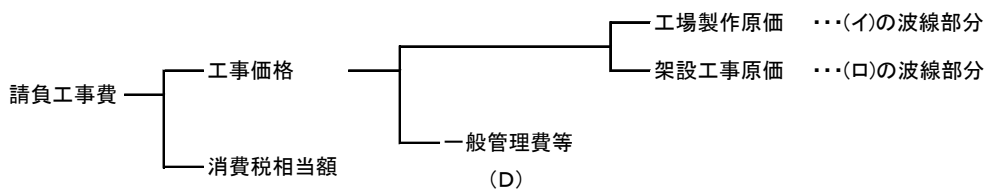
<鋼橋製作を伴う工事>
(イ)工場製作のみ発注の場合



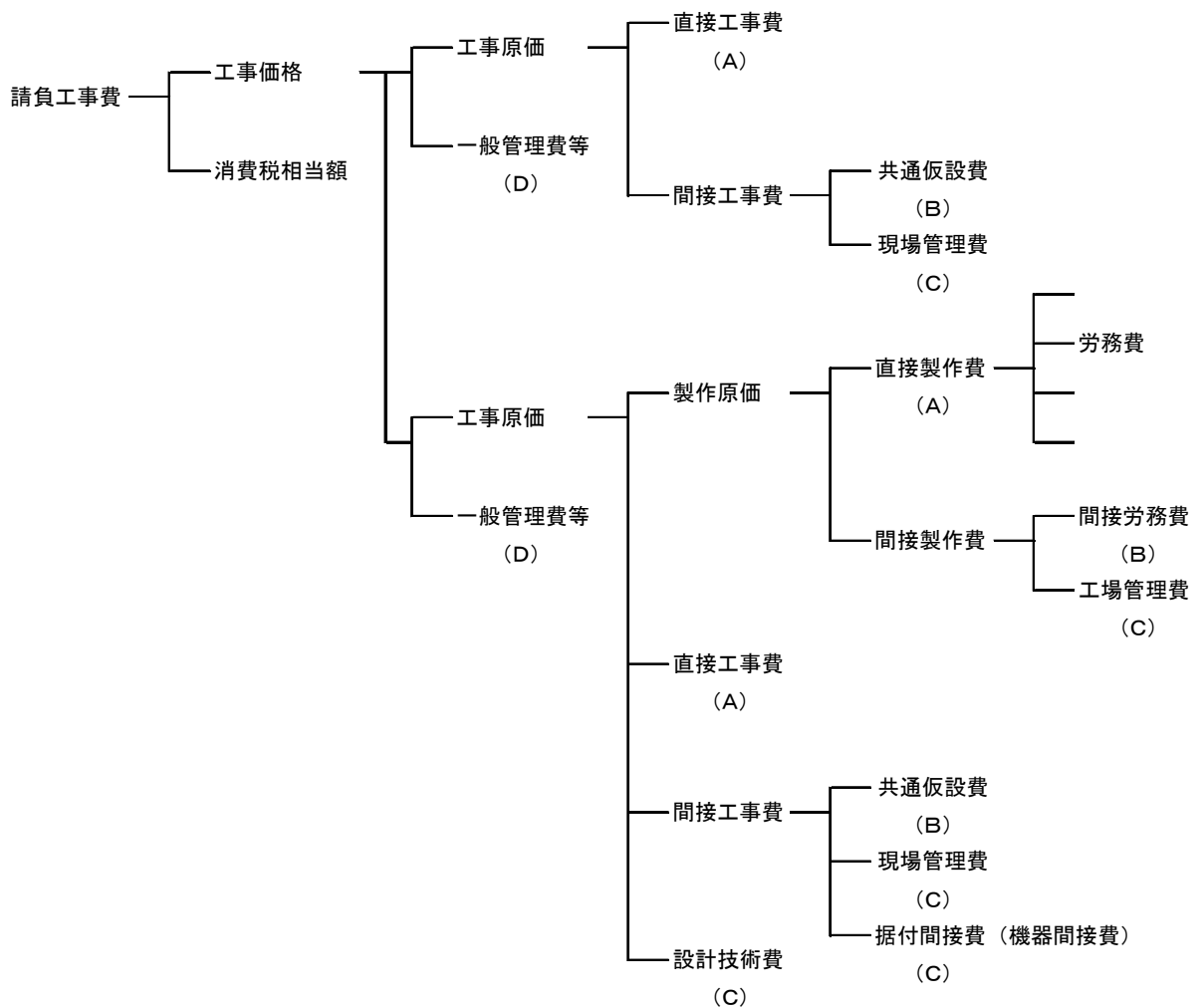
(ロ)架設工事のみ発注の場合



(ハ)工場製作から現場架設までを一括請負とする場合



<機器費を含む工事の例>



- (2) その他特別なもので積算要素の性格上、計上先が不明確な場合は、別途県土総務課へ協議して、低入基準価格を算定する上で、いずれに計上するかを決定する。

協議例)

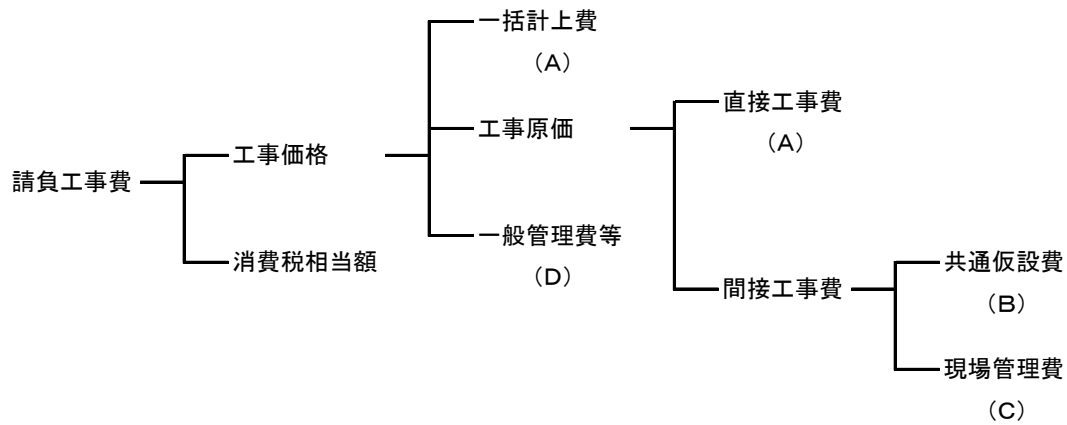
産廃税相当額・・・現場管理費として計上

※ 使用する積算システム又は体系によっては、計上の仕方により直接工事費、共通仮設費、現場管理費及び一般管理費等に含まれない費目が出てくる場合があるので、土木積算システム以外（農林関係、営繕関係等）を採用している場合は、注意する必要がある。

例) 一括計上費・・・土木積算システム上は、要素の性格にもよるが、共通仮設費に計上されるべきものでも、農林関係システムでは、共通仮設費に含まれていない。

機器費・・・下水道積算体系上は、直接工事費と別になるが、土木積算体系上は、直接工事費に含まれる。

<一括計上費（起業者伐採費）を含む工事の例>～農林関係システムを採用している場合



<機器費を含む工事の例>～下水道積算基準による積算体系をとっている場合

